

# One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY



200号  
記念号

2020 April

特集  
01

## 新学長に聞く

同志社人訪問

味の素株式会社社長

西井 孝明さんに聞く

COVER INTERVIEW

My Purpose 挑戦する人

My Purpose 挑戦する人  
を動画でCHECK!



## 2 特集01 新学長に聞く

## 5 特集02 新島襄の「愛人主義」に基づく「国際主義」の新拠点 「EUキャンパス」

## 9 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

スポーツ健康科学部 庄子 博人ゼミ  
商学部 牧 大樹ゼミ

## 11 同志社の研究は今

同志社大学ラテンアメリカ研究センター  
センター長 宇佐見 耕一（グローバル地域文化学部教授）



## 13 特集03 One Purpose 祝200号

## 15 2020年度 予算編成方針について

同志社大学 2025

## 16 ALL DOSHISHA 募金のご案内

## 17 INFORMATION

新任教員紹介・退職教員／2020年4月 同志社大学新島塾 第2期開塾／同志社大学公式SNS 一覧  
／全学共通教養教育科目「メガトレンドを読む」を新設／2020年4月からスタートする「高等教育の修  
学支援新制度」の在学生（学部生）を対象とした申請受付を行います／本学教員の執筆図書紹介

## 22 INTERVIEW ～同志社人訪問～

味の素株式会社社長  
西井 孝明さんに聞く



## 25 My Job, My Life ～私と「仕事」～

関 和幸さん（2018年 理工学研究科修了）  
美辺 香澄さん（2010年 商学部卒業）

## 27 COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

谷尻 萌さん（社会学部メディア学科 3年次生）



### お知らせ

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。  
同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

特集  
01

# 新学長に聞く

一人ひとりの人間が尊重され、個性と能力を存分に発揮できる  
ダイバーシティの実現に貢献する逸材の育成を目指す

植木朝子新学長に

アナウンサーとして活躍する同志社大学OGの  
八塚彩美さんがインタビューしました。

うえき ともこ  
植木朝子  
同志社大学学長

やつづか あやみ  
八塚彩美さん  
朝日放送テレビアナウンサー  
〔同志社大学文学部英文学科卒業〕



## キャンパスは多様性を実感し 互いに理解を深める絶好の場

**八塚** 学長就任、おめでとうございます。まず、現在の率直なお気持ちを聞かせてください。また、同志社大学初の女性学長という点でも注目されていますが、そのことについてはどのように感じておられますか。

**植木** 重責を担うことになり、緊張しています。現時点では不安の方が大きいのですが、これまで3年間にわたって副学長として様々な経験を積みさせていただいたので、それも役立てたいと考えています。また、初の女性学長として注目していただくことはありがたいのですが、「女性学長」が大きな話題にならないような時代に早くなって欲しいと思っています。それが望ましい社会だからです。

**八塚** 私も女性として心から願っておりますが、例えば2019年の「ジェンダー・ギャップ指数」（世界経済フォーラム）で日本は先進国で最下位の121位でした。本当に残念です。昨年、「女性活躍推進法」も改正されたように、女性が広く活躍できる社会を待望する意識は根づいてきているのですが、まだ多くの課題があります。学長はどのように捉えておられますか。

**植木** おっしゃる通りだと思います。これを推し進めるための政策も打ち出されていますが、まだまだ現実的には厳しい状態が続いています。ご指摘のように人々の意識は変化し、強まってきていると実感しています。問題はこれをどのようにして現場に反映させる

かという点です。とにかく一歩ずつでも、前へすすめていかなければならない。私も全力を注いで取り組みたいと思っています。

**八塚** 現在、社会はダイバーシティの実現を目指していますが、この課題はその中の一つのテーマだと思っています。性別とか、年齢とか、国籍などに関係なく各自の個性が認められ、自由に活躍し、伸びやかに生きることのできる世界が求められています。これに対して大学ができることは何だとお考えですか。

**植木** 大学は教育機関なので、やはり教育が一番大事だと捉えています。学生が互いに多様性を認め合い、より良い共存の在り方を創り上げていく。異なる価値観を持つ人々と融合しながらこれまで以上の社会を生み出していくという生き方が理想だということを全ての学生が納得できるまで教えなければならない。世界は一人ひとりの人間で成り立っており、その個々が尊重される社会がダイバーシティだということを深く理解させることが何よりも重要だと考えています。

**八塚** 国籍という点ではキャンパス内の留学生はこの15年間で186人から1137人へ増加したと聞いております。

**植木** 大学としては、さらに増やしていきたいと思っています。ただ、交流という観点では、まだ充分ではないと感じています。留学生と日本の学生がそれぞれ固まってしまう傾向が見られるからです。言葉などの壁もあり、ためらう部分があるのは分かるのですが、それを乗り越えてもっと活発に語り合

い、互いに理解を深めて欲しいと願っています。文化や考え方の異なる相手と向かい合い、打ち解けた中で率直に意見を交わすことによって新たな刺激を受け、数多くの貴重な学びが得られるからです。世界の多様性を実感し、認め合う絶好の機会が日々のキャンパスにあるのですから積極的に活かすべきです。

## AIやIoTの時代に向けて 哲学や倫理からの考察も重要

**八塚** 2017年に同志社大学初の海外キャンパスである「EUキャンパス（同志社大学チュービンゲンEUキャンパス）」がドイツのチュービンゲン大学内に開設されましたね。

**植木** 同志社大学とドイツをはじめヨーロッパ諸国をつなぐ新拠点です。新島襄の教育理念の一つである「国際主義」を具現化し、その伸展を図ることを目的としています。すでに活発な学術交流を行い、全学共通教養教育科目で構成した「EUキャンパスプログラム」による第1回学生派遣も実施し、チュービンゲン大学で「DOSHISHA WEEK2019」も開催しました。本年も春学期に「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」を開講し、秋学期には「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」を予定しています。新島襄が欧州の教育機関を視察した後、最も注目したのがドイツでした。この新拠点を通じて新島襄が掲げた愛人主義に基づく「国際主義」を多くの学生に体験して欲しいと願っています。また、「アジアの中の日本」という観点からアジアも視野に入れていきます。

**八塚** 最近、男女の性別以外にLGBTQといった表現も生まれ、多様なジェンダー認識が広まっていますが、このような配慮についてはどのようにお考えですか。

**植木** 「男女共同参画推進室」を発展的に捉えた「ダイバーシティ推進室」を設置し、新たな対応が行える組織を創設したいと考えています。ご指摘のようなジェンダーに関する相談に即応する特化した窓口も必要だと考えています。

**八塚** AIやIoTなどの理系的な知識の重要度が高まる中で、これを運用する際に哲学、宗教、倫理、心理などの文系分野の視点も改めて重視されています。この文理融合について学長はどのようにお考えですか。

**植木** 私の研究分野でも、例えば「崩し字」がAIで読めるといったことが話題になっています。また、古い史料に使われている紙の年代を正確に測定できるようになってきました。これから各研究においても文理融合はさらに重要になってくると実感しています。ただ、シンギュラリティーの問題に象徴されるように、テクノロジーの急激な進化がもたらす「漠然とした不安」を多くの人々が感じています。科学の発展と人類の真の幸福というテーマについては哲学的な思考や倫理的な考察などが不可欠であり、最先端の科学を誰にでも分かり易く説明するためには、「言葉の力」もこれまで以上に重視すべきです。



**八塚** 「言葉の力」というキーワードが出ましたが、国語力というのは非常に大切だと思います。これを高めるためにはどうすれば良いのでしょうか。

**植木** やはり様々な分野の本を読むことです。論理的な著述も文学的な著作もできる限り数多く読むことが必要です。これが「多様性の理解」にも繋がります。「考える力」を養うのにも必ず役立ちます。これからの国際社会で活躍するためには、卓越したコミュニケーション力が求められますが、その前提になるのも「的確に理解し、深く思考できる」能力です。

### 新島襄の志を受け継ぐ 次代のリーダーを輩出したい

**八塚** 次代のリーダーを生み出すために、同志社大学が推し進めている教育



うえき ともこ  
**植木 朝子**  
同志社大学学長

1990年お茶の水女子大学文教育学部国文学科卒業。同大学助手などを経て、2005年同志社大学文学部国文学科助教授、2007年同大学文学部国文学科教授。2017年から副学長。同年より教育支援機構長も務め、2020年4月から現職。専門は日本中世文学。

### My off time

子どもの頃から文学の世界に親しんでいた。父親が大学で哲学を研究し、母親は日本の古典文学を学んでいたという環境も影響しているかもしれないとふり返る。観劇や映画が好きで、演劇では能や歌舞伎から前衛劇まで広く鑑賞。映画で特に印象深い作品の一つがイランを代表する映画監督アッバス・キアロスタミの「友だちのうちはどこ？」(1987)。級友のノートを懸命に届けようとする愛らしい少年の健気な姿が心に沁みたと。時間があれば、大学時代に嗜んだ茶道や華道の世界にも再び触れてみたいと語る。

について聞かせてください。

**植木** 次の時代を担う人物を育成するために、新たに「同志社大学新島塾」を開塾しました。学問分野の専門性を高めるだけでなく、リーダーシップとフォロワーシップを兼ね備えた逸材の養成を目指しています。新島襄の志を継ぐリーダーを育てることを目的に松岡敬前学長が始められました。夏には合宿も実施しています。新島襄は「諸君ヨ人一人ハ大切ナリ」という言葉を遺していますが、学生の個性と能力を尊重し、互いに切磋琢磨する塾です。幕末に鎖国の禁を犯して渡米し、日本の未来を切り拓くために奔走した新島襄に続く有為の人物が生まれることを期待しています。

**八塚** どのような大学を目指しておられるのか、改めて学長の志を聞かせてください。

**植木** ダイバーシティ社会の実現に貢

献できる人物を輩出できる大学です。実業界での多様性はイノベーションが第一の目的になりがちですが、多様性とは本来「利他的」なものだと私は考えています。そのような意味での多様性と寛容さを身につけた人間的に際立つ学生を育成する大学をさらに深化させ、発展させたい。これが学長としての志です。

**八塚** 学生の皆さんへのメッセージをお願いします。

**植木** 大学という多様な出会いの場で、相手の心を見詰め、深く理解し、受け入れることの大切さを学んで欲しい。また、解決すべき課題を自ら見出し、物事の本質を見極める知力を鍛えてください。その前提として重要なのは、「解」は一つではないということ。考えるプロセスを重視し、その過程で複合的な視点と柔軟な発想を培っていただきたいと願っています。



新島襄の「愛人主義」に基づく「国際主義」の新拠点

# 「EUキャンパス」



和田 喜彦

EUキャンパス支援室長  
経済学部教授

田中 竜哉

国際連携推進機構 事務部長  
EUキャンパス支援室 事務長



昨年度に実施した第1回「EUキャンパスプログラム」は際立つ成果をあげました。  
これを徹底サポートした和田喜彦EUキャンパス支援室長と  
田中竜哉国際連携推進機構事務部長・EUキャンパス支援室事務長に  
新島襄が掲げた「愛人主義」を根幹とする「国際主義」の真意  
同志社大学とチュービンゲン大学が長年にわたって構築した格別の信頼関係  
新たな「EUキャンパスプログラム」に託した熱き思いなどを語っていただきました。

## 新島襄の若き日々を追体験し 広く深く世界を知って欲しい

**田中** 激動の幕末に日本の将来を憂い、世界を広く知るために、新島襄が鎖国の禁を犯して出国したのは21歳の時でした。まさに同志社大学で学ぶ学生と同じ年頃です。彼が数多くの貴重な経験を積み、模索を重ねた末に、最も重要だと確信したのが世界で高く評価される人材の育成でした。多様な文化や異なる価値観を受け入れ、次代の発展に貢献できる真の国際人を生み出したいと考えたのです。その理想の具現化を推し進め、大きく伸展させるために、2017年度に本学初の海外キャンパスとしてドイツのチュービンゲン大学内に開設したのが「EUキャンパス（同志社大学チュービンゲンEUキャンパス）」です。この新たな拠点で昨年度から「EUキャンパスプログラム」が始動しました。私たちは学生の皆さんがこのプログラムに参加することによって若き日の新島襄の熱き歩みを追体験し、その実感に基づいて掲げた教育理念の一つである「国際主義」の真意を深く理解して欲しいと願っています。



**和田** 新島襄の建学の精神も教育理念も海外に飛び出し、各地で学んだことが起点になっています。瑞々しい感受性に恵まれ、刺激に満ちた新たな体験を柔軟な思考で積極的に取り入れ、貴重な糧にできる青春時代に世界を知ることには非常に大切なことです。その価値は計り知れない。私が切に願うのは数多くの「次代を担う新島襄」を創出することです。「同志社大学設立の旨意」にも「一国を維持するは、決して二三英雄の力に非ず、実に一国を組織する教育あり、智識あり、品行ある人民の力に抛らざる可からず」と記されています。世界を広く深く知り、そこから得た学びを自らの力として新島襄

の教えを実践して欲しいのです。

## 「愛人主義」を根幹とする 唯一無二の「国際主義」を

**和田** 新島襄は欧州の教育機関の視察後、最も高く評価したのがドイツでした。遙かな時を超えてその思いが結実したのがドイツを中核にヨーロッパ諸国を視野に入れた「EUキャンパス」です。それは彼が確固たる姿勢で提唱した「愛人主義」に基づく「国際主義」の新拠点です。新島襄は『新島襄教育宗教論集（298頁）』で次のように述べています。「一人一人を愛するの説は大いに愛国よりは狭きに似たれども、人を愛するは、一国に限らず世界の人をも人と見なしてこれを愛せば、決して区域の狭き者にあらず」。彼は外国を敵視する偏狭な「愛国主義」の対極として「愛人主義」を掲げました。「人を愛する」という普遍的な観念が民族や国家を超えて世界の全ての人々を愛することに繋がると考えたのです。「愛人主義」を根幹とする「国際主義」は、同志社設立以来、不変の教育理念であり、いわゆる国際化とは根本的に異なる唯一無二のものなのです。この視点に立てば、新島襄が目指した真の国際人の姿が明確に見えてきます。「EUキャンパス」において「グローバル化」への取り組みを「展開」から「深化」へと変革させたいと思っています。それは本学独自の新たな「グローバル」に向けた挑戦であり、外国に海外事務所を設置するというこれまでの「グローバル化」とは一線を画すものです。「EUキャンパス」の開設によって同志社大学は新たな一歩を大きく踏み出したのです。

**田中** 例えば、教育理念の「自由主義」であれば、これを直感的に理解できる「個儻不羈（てきとうふぎ）」という有名な言葉が語り継がれています。これに対して新島襄が掲げる「国際主義」の真意を表す象徴的な言葉を考えた時、その基幹をなす「愛人主義」が最もふさわしい。これまで表舞台にはあまり出てこなかった言葉ですが、この機会にその意味を改めて学生はもとより多

くの方々に熟考していただき、新島襄が目指した「国際主義」の在り方を理解していただければと願っています。今日、多くの大学で「国際主義」が重要なテーマとして掲げられ、国際人の育成に力が注がれています。しかし、「愛人主義」を起点とする同志社大学の「国際主義」は他にはなく、また真似のできないものなのです。

**和田** 新島襄は「博愛」を何よりも重んじたのです。建学の精神「良心教育」の「良心」は英語で「CONSCIENCE」であり、原義は「共に知る」です。互いの立場に立って考え、深く理解する。これは「愛人主義」に繋がるものだと考えています。

**田中** 補足になりますが、新島襄自身は「国際主義」という言葉は使用していません。また、「愛人主義」はチュービンゲン大学との関係構築にも大きく寄与・貢献できるものだと確信しています。



▲ EUキャンパス内に掲げられる予定の新島先生の肖像とともに

## エングラール学長の心を捉えた 同志社大学の「永遠の価値」

**和田** 「永遠の価値の前では他の価値は相対的に低くかすんで見える」。これは同志社大学からの訪問団に対してチュービンゲン大学のエングラール学長が述べられた17世紀のオランダの偉大な哲学者スピノザの言葉です。「その心は…」とエングラール学長は次のように語られました。「同志社大学は26年間にわたり、学内に『チュービンゲン大学同志社日本研究センター』を置いてくださり、その運営への支援を惜しみませんでした。『誠実さ』という『永遠の価値』を同志社大学は提供してくれたのです。それゆえ両大学の関係を極めて大切に思っています。京都の大

学と関係を築くのならば他にも優秀な大学があるじゃないかという学内の意見に対して、このスピノザの言葉で反論しています」。数世紀前の時代を生きたスピノザがエングラール学長を通じて現代に生きる私たちに語りかけ、時空を超えて「EUキャンパス」の誕生を後押ししてくれたのです。1477年に創立されたチュービンゲン大学は建学以来、「革新性」、「学際性」、「国際性」を理念に掲げ、数多くの著名人を世に送り出し、ノーベル賞受賞者も輩出してきたドイツ屈指の名門大学です。例えば、アメリカ最古の歴史を誇るハーバード大学は、立ち上げ時に、チュービンゲン大学を模範としたと語り伝えられています。新島襄が欧州歴訪時の教育機関の視察において特にドイツの大学に注目し、チュービンゲン大学を5つの有力大学の1つとして挙げたことをエングラール学長に申し上げると、「ハーバード大学に続き、我々の大学を高く評価してくださったのが同志社大学の新島襄先生だということを知りました。非常に嬉しく思います」と微笑んでおられました。

**田中** 特に戦後、ドイツは「永遠の価値」を守ることに努力してきました。例えば、「人間の尊厳」、「人権」、「自由」などです。これは新島襄の「愛人主義」に通じるものです。これを背景とした同志社大学の「誠実さ」が「永遠の価値」としてエングラール学長の心に深く響いたわけです。本当に素晴らしいことだと思います。また、チュービンゲン大学にはカトリックとプロテスタントの2つの神学部があり、同志社も神学部で一神教研究を行っています。ダイバーシティという観点でも親和性が高いのです。

**和田** チュービンゲン大学は海外の協定校に関して複数のカテゴリーに分けて連携を行っています。その最高位にあたるのが「戦略的に重要な連携校」であり、世界各国から19の大学・研究機関を厳選しています。その1つが同志社大学です。この中に入るといことは凄いことです。これを見ても、長年にわたり築いてきた両大学の信頼

関係が際立つものであるということが分かります。最上位のパートナーシップで結ばれているのです。チュービンゲン大学がドイツ国内11の卓越大学の1つに昨年再選された時、松岡敬前学長がお祝いの手紙を送ったのですが、エングラール学長からのお返事は事務的な定型文ではなく、同志社大学との関係に言及した心こもったお返事であったことも印象深く鮮明に憶えています。



### 本年度実施プログラムは募集開始直後に定員超過

**和田** 2019年4月から8月まで「EUキャンパス」における初めての学生プログラムとして「EUキャンパスプログラム」を実施しました。非常に好評で大きな成果をあげることができました。参加した学生たちの「声」が他の多くの学生に届いたのだと思いますが、2020年度の春・秋学期実施の「EUキャンパスプログラム」は直ぐに定員満杯になり、すでに締め切りました。昨年、参加した第1期生たちは「このプログラムに生命を吹き込み、充実させるのは自分たちだ」、「私たちの姿勢によって今後のプログラムの在り方が決まる」という思いが非常に強く、極めてポジティブに取り組んでくれました。心から感謝しています。また、全ての参加学生にフェイスブックを通じて各自の視点で記事と写真を日々発信してもらい、これを本学の国際センターから継続的に配信しました。この効果もかなりあったと思います。また、チュービンゲン大学にも大きなメリットをもたらすことができたと確信しています。「EUキャンパスプログラム」の具体的な内容としては、まず語学研修プログラム「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」を実施しました。これはチュービンゲン大学の教員によるドイ



ツ語の授業で、フィールドトリップや現地の小学校訪問などの学外実習も含まれています。チュービンゲン大学の日本学科の学生との共修である「Intercultural Studies」や本学教員による「EUキャンパス特別講義」では、異なる価値観や文化だけでなくEUについても学びました。「Intercultural Studies」には本学で学んでいたチュービンゲン大学の学生も参加し、コミュニケーションを深め、モチベーションも高まり、日本学科にとっても効果大でした。授業以外の「Language Tutorial」ではチュービンゲン大学のティーチング・アシスタントからドイツ語でドイツの生活（イースターの歴史、地元のマーケットでの買い物、ブレッツェル製作など）を学び、「Buddy Program」では日本人学生と日本に行く前の日本学科のドイツ人学生がペアになって互いの言語を教え合いました。また、プログラム終盤には日本人学生がお世話になったチュービンゲン大学の教職員、学生などを招待して「Farewell Party」を開催し、さらに交流を深めました。本学の現地駐在スタッフによるきめ細やかなサポートも勉学と生活の両面で役立ったと実感しています。

### 必修科目を両大学が正規に設置他にはない画期的な試み

**田中** 第1回「EUキャンパスプログラム」は私どもの期待を上回る確かな成果を得ることができました。この実績に基づき、改めて「EUキャンパス」で学ぶ学生に対して「どのような教育プログラムが良いのか」ということを徹底的に討議し、2020年度は春学期（3月～8月）には前年度に続く「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」、秋学期（9月～1月）に

は新たに「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講します。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」はドイツ語の運用能力の向上を図ると共に、ドイツ・EUの異文化や価値観などをドイツ語・日本語で学ぶプログラムです。「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」は文化・宗教・社会・政治・法律・経済・環境・人権・ジェンダー・移民・難民など複合領域的な観点からドイツ・EUの歴史と現状および諸課題を英語（または日本語）で学ぶプログラムになっています。春学期のプログラムは全学共通教養教育科目で構成し、秋学期のプログラムは本学初の試みである学部専門科目のプログラムを実施します。海外キャンパスの要件の一つに「本学学生の教育活動が定期的に行われていること」が掲げられていますが、春・秋学期に2つのプログラムを設置することによってこの要件も満たすことができました。

**和田** 秋学期のプログラムはチュービンゲン大学が世界の留学生向けに展開してきたIES (International & European Studies) 科目を同志社大学のために特別にカスタマイズした6科目を提供していただき、本学も神学部・文学部・社会学部・法学部・経済学部・政策学部の6学部からEUキャンパスで学ぶという観点に立った6科目を提供しています。合計12科目です。また、春学期のプログラムには4つのフィールドワーク、秋学期のプログラムには6つのフィールドワークを付加しています。

**田中** 特に注目していただきたいのはこれらの科目（春学期「Intercultural Studies」および秋学期IES科目）は両大学が正規に設置した共修科目であるということです。同志社大学の科目であり、チュービンゲン大学の科目なのです。これまでの留学では先方の大学の科目を取り、それと合致する本学の科目を選定して認定していましたが、

共修科目は双方の学生が学ぶ科目であり、根本的に異なります。設置にあたっては両大学の教育理念において一致したものを選び、お互いに必要と考えた科目を両大学の学生が共修するのです。現在の他大学にはこのような事例はありません。まさに画期的な試みなのです。同志社大学の学生はチュービンゲン大学に「留学」するのではなく、今出川校地や京田辺校地の延長線上にある本学初の海外キャンパス「EUキャンパス」に赴き、学ぶのです。また、「EUキャンパスプログラム」の派遣留学生には同志社大学を代表する交換留学生というポジションが与えられます。



多彩な研究発表が行われ、両大学の研究交流が深まる

## DOSHISHA WEEK 2019 開催

2019/11/25-29

第1回となる今回は5日間で3つの大きなテーマを設定し、研究発表が行われました。チュービンゲン大学（以下UTと記載）には、会場の確保やレセプションの手配だけでなく、プログラムの内容決定、登壇者の選定・調整などに協力いただき、多くのUTの研究者にも登壇いただきました。初日の25日はAlte Aulaを会場にオープニングとして横川副学長による同志社大学の紹介、研究トピックス、同志社大学EUキャンパス、両大学のこれまでの関係を含む開催挨拶に続き、シェアー副学長（国際担当・UT）の挨拶、アントーニ日本学科教授（UT）の講演が行われました。オープニング後は、「A Great Contribution to Maintaining Human Health Both in Space and on Earth」をテーマに同志社大学宇宙生体医工学研究プロジェクトから本学の研究者2人と学生1人、

UTから研究者1人による研究発表が実施されました。

26日～28日の3日間は、会場を新たにSchloss（チュービンゲン城）に移して「Modernity's Challenges to Law and Dispute Resolution」をテーマに、本学法学部・司法研究科とUT法学部の研究者、両大学と繋がりのある他大学の研究者、民間の法律関係機関に所属する専門家による研究発表がなされました。また、29日の最終日は、会場をさらにUniversity Hospital of Psychiatry and Psychotherapy（精神医科系の病院）に移し、「Baby Science: Past, Present, and Future」をテーマに本学の赤ちゃん学研究センターの研究者2人、UT研究者3人、他大学の研究者1人による研究発表が行われました。これを機に、両大学の研究交流がさらに活発化し、大きな成果に繋がるのが期待されています。



## 明確なビジネスマインドを持ち 専門知識を駆使して スポーツの産業化に貢献する 優れた人材の育成を目指す



**庄** 子博人准教授の研究分野はスポーツマネジメント論、スポーツビジネス論、スポーツ産業論である。これまで日本のスポーツ界は学校運動部活動と企業スポーツを両輪として伸展してきた。しかし、すでに社会情勢は大きく変化しており、スポーツを産業の観点から捉えた新たなビジネスモデルの構築が急務となっている。例えば、日本経済再生本部が発表した「日本再興戦略2016」には、「官民戦略プロジェクト10」の一つとして「スポーツの成長産業化」が明記されている。「未来投資戦略2017」では、スポーツ市場の規模を5.5兆円から15兆円にすることを決定した。庄子准教授はマクロな研究としてスポーツ産業規模の計測と特徴の解明、ミクロの分野ではスタジアム・アリーナを対象とした官民一体による収益の拡大戦略を探究している。また、2019年9月には(株)日本政策投資銀行、(株)日本経済研究所、同志社大学の共同研究による「わが国スポーツ産業の経済規模推計～日本版スポーツサテライトアカウント2018～」を発表した。「スポーツサテライトアカウント(SSA)は、スポーツ産業の経済規模を測定する勘定体系の事です。欧州委員会(EC)ではスポーツ産業の定義を定め、各国共通の尺度で計測しています。私たちは基盤となる経済規模を『スポーツGDP』と

称しており、日本の比率は約1.4%。例えば、ドイツ、イギリス、オーストリアは約3.0%でした。まずはこの規模まで持って行きたいと考えています。



**庄** 子ゼミでは明確なビジネスマインドを持ち、スポーツの産業化に貢献できる人材の育成を目指している。マネジメントやファイナンスなどの専門知識も欠かせない。このような能力を鍛えるために、3年次には大学生を対象にしたスポーツ施策提案のコンペティションに挑む。昨年は日本スポーツ産業学会のスポーツビジネスジャパン「大学生アイデアコンペ」、日本スポーツアナリスト協会・SAPジャパンの課題「横浜F・マリノスの集客を増加させるためには？」に参加。本年はSPJ (Sport Policy for Japan) 企画委員会・日本スポーツ産業学会共催のSPJ大会でスポーツ政策提言を試みた。いずれも、春学期の半ばからチーム別に企画提案を練り上げ、秋学期に提案。この実践的な経験に基づき、4年次の12月に提出する卒業論文に取り組み。取材当日はコンペティションを終えた3年次生を対象に卒業論文作成に関するレクチャーとゼミ生の現時点でのテーマ発表が行われた。「まず研究テーマを探索し、来年の春までに確定。独自の調査やデータ収集を初秋までに終えて執筆を始めてください」。就職活動もあり、時間は限られていると庄子准教授は

注意を促す。各自のテーマについても細やかな指導が行われ、他のゼミ生からも数多くの質問が寄せられ、熱気を帯びた時間が過ぎて行った。

**所** 属しているゼミ生は4年次生、3年次生共に10人。4年次生の加藤達也さんは卒業論文の執筆に全力を注いでいる。テーマはスポーツ小売業のゼビオグループが推進する多目的アリーナの成立要因の解明。これが日本の官民連携の新たなビジネスモデル構築の先進的な事例になると確信している。就職が内定している電力会社でも地域のスポーツ振興事業に携わりたいと考えている。3年次生の原健太さんはスポーツ活性化の要素の中でも特に観客に着目し、その拡大策を探究するために本ゼミを選んだ。先月まで取り組んだコンペティションでは貴重な学びを得たとふり返る。卒業論文のテーマは「ラグビー界の課題解決方法の考察」。将来的にはラグビーW杯第2回日本開催に貢献できる人材になりたいという。高校時代にドイツのサッカースタジアムを見学し、スポーツ文化が地域に根づいていることを実感したのがこの分野に強い関心を抱く契機になったと語るのは3年次生の加藤勇人さん。卒業論文では専用スタジアムが地域活性化などに及ぼす影響を考察する。卒業後は食品や医療メーカーなどの仕事を通じてスポーツ界に貢献したいと思っている。3年次生の竹内努さんはスポーツ商品の開発・販売に興味があり、本ゼミを選択した。卒業論文のテーマは未定だが、「大学スポーツが抱える課題と解決策」などを検討している。



※2019年11月取材。



## ビジネスに必要な データ分析力を養い 自らの考えで新たな価値を 生み出せる人材を育む



**牧** 大樹教授の専門分野は計量経済学、時系列分析である。日経平均株価、円ドル為替レート、金利、物価などの経済データは時間と共に変化する。このような変動するデータを統計的に分析するのが時系列分析である。「私は数々の分析手法をシミュレーションや実際のデータを用いて検証しています。特に、『どのような動きをしているのか』に焦点を置いて分析しています。この研究を通じて、より精度の高い統計手法を見極めたいです」。牧ゼミのテーマは「データ分析による問題解決」。現代社会の様々な問題の要因をデータ分析によって解明する。このような分析力の基礎となるのが、①データ分析に必要な手法や統計学の考え方、②データ分析ソフトの使用法と結果の読み取り方、③分析結果を明確に伝えるためのプレゼン力である。「これらの能力を高めながら、チームで仕事をする力、論理的思考力、行動力、問題を発見・解決する力なども養っていきます。ゼミ生が互いに協力して情報収集やデータ分析などに取り組むことによって、これからの社会に不可欠なスキルを磨くことができます」。このゼミで牧教授が育成したいのは、自らの考えで新たな価値を生み出せる人材である。



**2** 年次ではデータ分析手法の学習を通じて、基本的なデータ分析力やプレゼン力を培い、3年次には日本学生経済ゼミナールが主催するインター大会などに挑戦する。他大学の学生たちと競うことによって自分の実力を客観的に把握するためである。「結果よりもこの取り組みで得られるものを重視しています。タイムマネジメント、探究、討議、チーム内でのコミュニケーションなど様々な経験が貴重な糧になり、就職活動時や社会人になってからも役立つからです」。



これらを踏まえて4年次には卒業研究に打ち込む。取材当日は最初にゼミ生各自の読解力を測るリーディングスキルテストが行われた。ゼミ生各自の読解力を確認することで、これから研究を行う際に、専門書や文献を正確に理解し、新しい知識を身に付けるためだ。続けて論理的思考力を鍛える問題に3～4人ずつでチームを組んで挑む。一つ目はある社会評論家のテレビ番組における「コメントの説

得力の弱さを論理的に説明せよ」という課題である。白熱した議論を経て、各チームの代表が順番にロジカルシンキングの成果を発表。これらに対する牧教授の的確な指摘にゼミ生全員が聞き入り、次のテーマについての討議はさらに活気に満ちたものになっていった。

**現** 在、所属しているゼミ生は4年次生が23人、3年次生が20人、2年次生が24人である。2年次生の市橋僚介さんはマーケティングに強い関心があり、商学部を選んだ。同志社大学を第一志望にしたのは、関西の私大でトップレベルだと判断したからである。「このゼミに所属したのはデータ分析を本格的に学習したかったからです。人前で話すことは得意なのですが、説得力に欠けるので論理的思考力を鍛えたいと思っています」。卒業後の進路は未定だが、大好きな映画の世界で学んだことを活かせればと考えている。「分析・統計の能力を養うために、このゼミを選びました。先生の人柄に惹かれたのも選択の理由です」と語るのは2年次生の梶咲里さん。ゼミ生の誰もが意欲的なのも自身の勉学の励みになっているという。幅広く実践的な学びが得られる商学部で、自分が本当にやってみたい分野を見極めようとしている。2年次生の平津溜那さんは起業家になるために、多彩な経済活動が具体的に学べる商学部に進学した。「分析力、プレゼン力、論理的思考力などの能力を身につけられるこのゼミは、自分の夢を実現するのに最適だと思いました」。牧教授の細やかな指導の下で着実に成長できていると微笑む。

## 西日本における中南米の中核的研究拠点を確立し ラテンアメリカの諸課題を総合的に探究

これまで国内におけるラテンアメリカの研究拠点は東日本に集中しており、西日本には一体となって共同研究に取り組める中核を築けていなかった。本学のグローバル地域文化学部とグローバル・スタディーズ研究科合わせて現時点で4人のラテンアメリカ研究者がおり、ラテンアメリカ関係の学会の西日本部会などの開催にも力を尽くしてきた。このような状況を踏まえて、学内外の数多くの研究者が多角的な観点から中南米の国々の諸問題を総合的に探究できる新たな中核的研究拠点を創出し、研究の水準向上に寄与するために、同志社大学ラテンアメリカ研究センターが設置された。

### 同志社大学 ラテンアメリカ研究センター

センター長

## 宇佐見 耕一

【グローバル地域文化学部教授】

1986年筑波大学地域研究研究科修士課程修了、同年アジア経済研究所に入所。2003年JETROアジア経済研究所ラテンアメリカ研究グループ長。2015年同志社大学グローバル地域文化学部教授。高校時代に地理の授業でラテンアメリカへの関心が深まる。また、少年の頃から鉄道が大好きで「撮り鉄」をしながら、時刻表も愛読。かつてよく利用していた寝台急行「銀河」を懐かしむ。小説では村上春樹の大ファンで、『海辺のカフカ』は最高と語る。



## 民主化は進んだが、高い貧困率が課題

ラテンアメリカとはメキシコからアルゼンチンに至る地域の総称であり、33の国家からなる広大な地域である。半世紀前の1970年代には大半の国家が軍事政権下に置かれたが、1980年代に入ると各国が経済危機に陥り、多くの国で政権を文民に移譲するようになる。民主化した政府が直面したのが軍政時代に先進国から借り入れた膨大な債務であった。経済破綻を回避するために、各政府はネオリベリズム（新自由主義）へと大きく舵を切り、国営企業の民営化、規制緩和や貿易の自由化などを打ち出して行った。その結果、マクロ経済は回復に向かうが、富裕層に富が集中し、貧困・格差問題は激化する。「このような状況を背景に21世紀に入ると域内で多くの左翼政権が成立し、積極的に社会政策を実施します。この潮流は旧ソビエト連邦のような社会主義一辺倒の政策ではなかったもので、ピンクタイド（桃色の潮流）と称されています。当初は急成長を続ける中国が中南米の主な輸出品である天然資源や農産物を大量に輸入したために新たな財源を確保でき、上手く行ったのですが、2015年前後から中国の経済が減速し始めると再び低迷。政権が左派から右派へ移る国が出てきました。まさにオセロゲームのような状況です」。民主主義は定着してきましたが、国際市場の影響を強く受ける各国の経済と貧困・格差問題とは表裏一体となっており、正規労働者の比率が低く、インフォーマル経済（非公式経済）も大きな課題になっている。

## 国際労働移動、人権問題、政治を研究

同志社大学ラテンアメリカ研究センターが設置されたのは2018年6月。研究実施計画として3テーマを想定している。一つ目は「ラテンアメリカにおける国際労働移動」である。共同研究会を立ち上げ、多角的な視点から探究を続けている。その学問分野は社会学、政治学、歴史学、文化人類学など多岐にわたる。二つ目は「ラテンアメリカの人権問題」で、本研究センター研究員とラテンアメリカや欧米などの研究者を加えた共同研究を実施している。もう一つが「21世紀以降の現代ラテンアメリカの政治に関する現状分析」。政治学だけでなく社会学や政治人類学的手法も用いた学際的な分析を行っている。これらの研究成果は出版、講演会、シンポジウムの開催などによって発信し、社会に還元したいと考えている。

「研究テーマの一つである『国際労働移動』に関してはすでに成果が出ています。研究員の一人である松久玲子先生の編著『国境を越えるラテンアメリカの女性たち—ジェンダーの視点から見た国際労働移動の諸相—』（晃洋書房）が同志社大学人文科学研究叢書として2019年12月に出版されました。移民労働者として現代ラテンアメリカの女性たちが国外労働市場に組み込まれるプロセスと彼女たちが直面する諸問題をジェンダーの視点から読み解いた書籍です。これに基づき今年度中にメキシコとアルゼンチンから人権問題にも精通した研究者を招き、シンポジウムを開催する予定です」。現在は「人権問題」に焦点を置き、いずれのテーマにも深く関わる「政治」の現状分析を同時並行的に推し進めている。

## 多角的な視点に基づく共同研究が重要

宇佐見耕一センター長の研究テーマは、ラテンアメリカの社会政策である。大学院時代にメキシコに1年間留学し、その後アジア経済研究所の海外派遣員や海外調査員としてブエノスアイレスに計4年間滞在。それ以後も毎年訪問する中でアルゼンチンの5,000%というハイパーインフレや、経済危機による失業や貧困の急激な拡大などを体験したことが社会政策の問題に強い関心を抱く契機になったという。「当時の研究対象はアルゼンチンが中心でした。第二次世界大戦後にペロン政権が誕生したのですが、なぜ軍部の右派出身のペロン大統領が労働者への保障を拡大したのか。また、貧しい人々のために財団を設立し、社会福祉に全力で取り組んだ大統領夫人エバ・ペロン（愛称エビータ）の活動内容も知りたかった。これが今日の研究の端緒になりました」。現在はキューバやコスタリカなどの中米やカリブ海諸国も対象に加え、政治学的視点も取り入れて社会政策の在り方を考察している。これらの研究成果は数多くの著書として結実しており、直近では毎年編集代表を務めている『世界の社会福祉年鑑2019』（旬報社）が出版され、今年度末に刊行予定の『新世界の社会福祉全12巻シリーズ』（旬報社）でも第10巻「中南米」の編集を担当している。「この分野は特に共同研究が重要です。そのためにも本研究センターを新たな中核的研究拠点として充実させたい」と宇佐見センター長は意気込みを語る。

# One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY



# 200号



在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として、1970年11月29日に創刊された「同志社大学通信」。1991年4月に現在の「One Purpose」という愛称がつき、2020年4月号で200号を迎えることができました。今回は創刊200号を記念して、創刊から50年間の本誌の変遷と大学内外の移り変わりを振り返ってみました。

## 1970-1979

## 1980-1989

## 1990-1999

同志社大学の  
変遷



### 1975

創立100周年

11月 創立100周年  
年式典を行う

- 1977年2月 田辺校地整備に関する「基本計画」決定
- 1979年11月 「同志社百年史」(全4巻)刊行



### 1970

創刊号

創立九十五周年  
を迎えて

- 1976年(19号) シリーズ「同志社人訪問」はじまる
- 1979年(29号) 座談会 同志社大学に何を求めるか
- 1979年(30号) 愛について

- 1982年9月 第1回函館キャンブ

### 1986 田辺校地開校

4月 田辺校地(現・京田辺校地)開校、授業開始

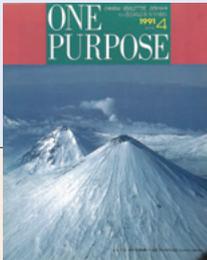


- 1985年(55号) '86田辺開校で大きな展望がひらかれる
- 1985年(56号) 座談会 ここ一番に強いスポーツをめざして
- 1987年(66号) 座談会 キャンパスライフを語る 留学生 VS. 日本人学生
- 1988年(74号) 同志社EVE —EVEがわかると学生自治が見えてくる—



撮影:岡村啓爾

- 1991年4月 大学院アメリカ研究科開設
- 1993年9月 テュービンゲン大学日本語センター(現・テュービンゲン大学同志社日本研究センター)開設
- 1994年4月 工学部および工学研究科、理工学研究所を田辺校地(現・京田辺校地)に統合移転
- 1995年4月 大学院総合政策科学研究科開設
- 1996年7月 早稲田大学と「国内留学」協定締結



### 1991 85号

「同志社大学通信」に  
One Purposeと愛称がつく

- 1994年(99号) 不況、極寒、厳しい就職戦線の幕が開けた



### 1994 100号

One Purpose(大学通信)  
100号記念  
ONE PURPOSEと25年

- 1997年(111号) 大学生生活と資格取得 時代が求めるプラスアルファとは
- 1998年(116号) 座談会 大学におけるスポーツの意義を問う

One Purpose 誌面より

「同志社人訪問」にご登場  
いただいた卒業生の方々  
※肩書は掲載当時

- 1976年(19号) 作家 筒井 康隆さん【文学部卒】
- 1977(23号) 衆議院議員 土井 たか子さん【法学研究科修了】
- 1979年(31号) 徳島県立池田高校教諭 高 文也さん【経済学部卒】
- 1982年(38号) 俳優 二谷 英明さん【文学部入学】
- 1983年(46号) タレント 浜村 淳さん【文学部卒】
- 1986年(60号) プロ野球選手(西武) 田尾 安志さん【文学部卒】
- 1988年(70号) (株)神戸製鋼所 平尾 誠二さん【商学部卒】

- 1990年(80号) オムロン社長 立石 義雄さん【経済学部卒】
- 1990年(81号) (株)半導体エネルギー研究所、発明者 山崎 舜平さん【工学研究科修了】
- 1990年(84号) 劇団「そばごまち」座長 生瀬 勝久さん【工学部卒】

社会・流行クローズアップ  
※写真提供朝日新聞社

- 1970年 日本万国博覧会
- 1972年 沖縄返還
- 1972年 ジャイアントパンダ2頭が来日、上野動物園で一般公開
- 1977年 国民栄誉賞が創設 王貞治が受賞



### 1979

初の共通1次試験

第1回共通第1次学力試験  
実施

- 1983年 東京ディズニーランド®開園
- 1986年 男女雇用機会均等法施行
- 1988年 青函トンネル開業/瀬戸大橋開通
- 1989年 消費税率3%導入



### 1989

平成に改元

昭和天皇崩御  
平成に改元

- 1990年 第1回大学入試センター試験実施
- 1993年 Jリーグ開幕
- 1995年 阪神・淡路大震災
- 1996年 「たまごっち」ブーム
- 1997年 消費税率が3%から5%に引き上げ



### 1995

地下鉄  
サリン事件



## 2000-2009

### 2000 クリスマスツリー初登場

12月 クリスマスツリーが  
今出川校地に初登場



- 2004年4月  
今出川校地に政策学部、法科大学院(司法研究科)、経営大学院(ビジネス研究科)開設
- 2005年4月  
文学部再編により今出川校地に社会学部、京田辺校地に文化情報学部開設
- 2008年4月  
京田辺校地に生命医科学部、スポーツ健康科学部開設  
工学部を理工学部に変更
- 2009年4月  
京田辺校地に心理学部開設

## 2010-2020

- 2011年4月  
京田辺校地にグローバル・コミュニケーション学部開設
- 2013年4月  
キャンパス再編事業により文学部、法学部、経済学部、商学部の1・2年次教育を今出川校地に移し、学部教育がそれぞれの校地で完結する教学体制が完成  
今出川校地にグローバル地域文化学部開設

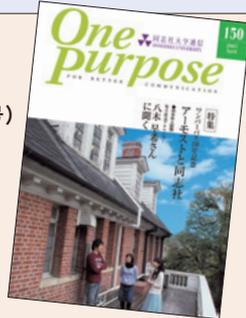


### 2000 123号～125号

創立125周年記念特集  
第2弾／写真で綴る同大生の生活史(124号)



- 2001年(129号)  
アメリカ同時多発テロと学生意識
- 2007年(153号)  
座談会 JR福知山線 脱線事故を乗り越え、未来へ



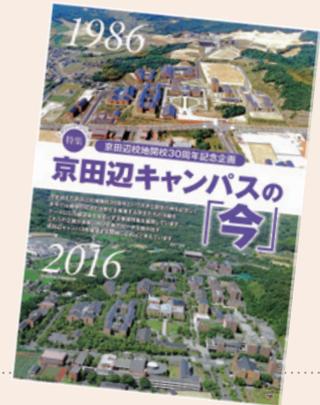
2007 150号  
ワンパーパス150号記念  
アーモストと同志社

- 2001年(126号)  
日本ハムファイターズ 片岡 篤史さん【商学部卒】
- 2002年(130号)  
ノンフィクション作家 保阪 正康さん【文学部卒】
- 2008年(154号)  
オーストリア・ブンデスリーガ レッドブル・ザルツブルク  
宮本 恒靖さん【経済学部卒】

- 2010年(165号)  
「海外留学」を考える～外国で学ぶことの意義と課題～
- 2014年(180号)  
学生寮を語る  
～そこは、もうひとつの学びの場

2016 189号  
京田辺校地  
開校30周年記念企画  
京田辺キャンパスの「今」

2020 200号  
祝200号記念号を発行



- 2010年(162号)  
小説家 真山 仁さん【法学部卒】
- 2013年(174号)  
プロ野球 東京ヤクルトスワローズ内野手 宮本 慎也さん【商学部卒】
- 2019年(199号)  
東京都副知事 宮坂 学さん【経済学部卒】

- 2000年 九州・沖縄サミット
- 2001年 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™が開園
- 2001年 アメリカ同時多発テロ事件
- 2001年 米マリナーズのイチローが、MVPと新人王を受賞
- 2005年 個人情報保護法施行
- 2008年 リーマンショック



2000  
二千元札が発行

- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリー®開業
- 2014年 消費税率が5%から8%に引き上げ
- 2016年 熊本地震
- 2019年 ラグビーワールドカップ2019が日本で開催
- 2019年 消費税率が8%から10%に引き上げ



2019 令和に改元  
皇太子徳仁親王殿下が天皇に即位  
令和に改元

2020年度

# 予算編成方針について

2020年度予算編成方針は、法人の予算編成方針に基づき、

2019年10月31日の大学予算委員会および大学評議会で審議のうえ決定されました。

この方針に基づき予算編成を行い、一層の教育研究環境の維持・充実を進めてまいります。

なお、予算の詳細については次号に掲載予定です。

人口減少と少子高齢化が進行する中、各大学は、社会から必要とされる高等教育機関であり続けるべく、人生100年時代やグローバル化を踏まえ、年齢や国籍を問わず幅広い社会の構成員に対して、それぞれの個性を發揮しながら質の高い教育機会の提供を推進している。もちろん今後も大学進学者の中心は未来を切り拓く若い世代で、彼らの育成は国公私立を問わず全ての大学に共通の取り組みであり、実施を目前に控える「高等教育の修学支援新制度」への対応はもとより、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」をも見据える必要がある。本学は、時代の変革を的確に捉えながら、創立以来抱き続ける建学の精神に則り教育の質向上に邁進の上、社会に有為な人物を養成、輩出し続けなければならない。

私立学校法の改正により、2020年度以降、「同志社大学ビジョン2025－躍動する同志社大学－」（以下「ビジョン」という。）およびその中期行動計画は、法人としての中期的な事業計画の主軸となり、法人および大学の中長期財政計画との関わりもより一層強まることとなる。中でも「2025 ALL DOSHISHA 募金」の推進はビジョンの期間を通じての重要な取り組みであり、引き続き、同志社大学に関わるすべての人の連携意識を深め、確固たる協力体制の構築を目指す。

教学面では、学部・研究科、教育支援機構および高等研究教育院の連携により、特色ある各種教育プログラムの開発および実施を含め、さまざまな教育改革を推進する。EUキャンパスにおいては、「本学学生の教育活動が定期的に実施されている」環境の恒常化に踏み出すとともに、中長期的な活用方法の検討を進める。また、研究および教育の場面では「組織」対「組織」の連携スキームの構築および発展をより一層意識する。さらに、「大学入学共通テスト」実施をはじめとする一連の大学入学選抜改革について、この間準備を進めてきた本学としての対応を確実に実行する。

教育研究環境の面では、教学施設設備および研究装置設備の整備に係る第2号基本金を着実に組入れるほか、新学生寮について、2021年度中の供用開始に向けて利用計画を具体的に検討し、さらに新図書館について、2025年度の竣工を目指し建設の構想を進める。学生支援の面では、国の「高等教育の修学支援新制度」の実施に合わせる形でこの間検討を進めてきた、同志社大学奨学金基金の運用果実を中心とした新たな奨学金制度の運用を開始する。大学運営の面では、内部質保証に係る取り組みを推進し、大学基準協会による機関別認証評価に対応する。

収入面では、学生生徒等納付金について、学部入学者数は入学定員通りとし、入学生学費の改定および過年度の学費改定による年次進行での増収を見込む。また、入学志願者の安定的確保や補助金、寄付金、受託事業収入など外部資金の増収について、引き続き積極的に取り組んでいく。

支出面では、人件費は新規採用を含む所要額を計上するが、人件費比率に留意するとともに、人材派遣や業務委託に係る経費も含め、全体として金額面での抑制を図る。また、物件費については、学長裁量経費の拡充などの重点事業項目に係る所要額を除き、全体として抑制を図る。さらに、教育研究費については、教育環境改善費予算および国際化戦略特別経費予算について前年度と同様の基準により計上するほか、繰越予算については具体的な事業実施計画に基づく効果的な執行を推進する。

なお、ビジョンにおいて目標に掲げている収支均衡予算編成に向けては、とりわけ経常勘定における支出超過の改善は急務であり、教育研究環境の維持・充実に取り組むための財源については、学費支弁者の負担だけではなく、既存事業の見直し等による支出抑制により確保する必要がある。については、教育研究費に係る積算基準の一部、経常的経費および維持運営費の一部に係る支出抑制策を引き続き実施するとともに、過年度の予算執行状況を精査し、予算の効率的活用を検証の上、予算を編成する。また、大規模建設事業については、中・長期的な施設設備整備計画に基づき、その他既存の施設設備の整備については、安全管理面において緊急性の高い事業を最優先としつつ、キャンパスの快適性にも配慮の上事業を厳選し予算を計上する。

以上の方針のもと、予算における計画性を重視し、限られた財源を効率的に配分することを大原則として2020年度予算を編成する。

財務部 経理課

# 同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金のご案内

本学は創立150周年を迎える2025年に向けて「躍動する同志社大学」をコンセプトに「同志社大学ビジョン2025」を掲げ、ビジョン推進のため2017年10月より「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」へのご協力を呼びかけております。本募金事業では、中長期ビジョン推進はもとより、経常的な取り組みである奨学金給付や課外活動支援、施設設備整備に対する募金活動の展開も行います。本学の教育理念と募金事業にご理解をいただき、より一層の温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



総長・理事長 八田 英二



学長 植木 朝子

## 募集要項

募 集 期 間：2017年10月1日～2026年3月31日

目 標 額：50億円

募 集 単 位：個 人 1口 1万円

※1口あたりの金額を設定しておりますが、金額に関わらずありがたく頂戴いたします。  
継続的なご支援を賜れましたら幸いです。

法人・団体 1口 10万円

税制上の優遇措置：個人 特定公益増進法人または税額控除対象法人による減税措置

法人 特定公益増進法人または受配者指定寄付金制度による減免税措置

## 「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」対象事業(10項目)

リーダー養成プログラム運営支援

グローバル化の促進支援

高大接続プログラムの展開支援

特定寄付奨学金

育英型奨学金

スポーツ活動充実資金

文化系公認団体活動充実資金

今出川校地新図書館建設

新たな学生寮建設

用途は特定しない

## 寄付者への顕彰制度

寄付者の皆さまのご支援に対しまして、独自の顕彰制度を設けております。詳しくはALL DOSHISHA 募金サイトよりご確認いただきますようお願いいたします。

募金期間内に累計10万円以上のご寄付を賜った場合、ご選択いただいた芳名公開区分に応じて「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」の寄付者銘板に順次ご芳名を掲載させていただきます。銘板の設置場所は、今出川キャンパス・良心館1階北入口の自動扉に入ります。



## 寄付のお申込み方法

●インターネットによるお申込みの場合

ALL DOSHISHA 募金サイト

<https://bokin.doshisha.ed.jp/2025alldoshisha/>

または

●次の場合は資料を送付させていただきますので、お問い合わせ先までご連絡ください

- ・ゆうちょ銀行以外の金融機関へお振込みをご希望の場合
- ・法人でのご寄付をお申し込みいただける場合
- ・海外からのご寄付をお申し込みいただける場合

スマホからの  
ご寄付も可能です



お問い合わせ先

同志社大学 学長室 募金課

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL：075-251-3230 FAX：075-251-3097

Email：ji-bokin@mail.doshisha.ac.jp

※勤務先、ゼミやクラブ、ご有志等での集まりがございましたら、資料を送付させていただきますので、学長室募金課までご連絡ください。



## 新任教員紹介

- ①所属 ( )内は所属学科
- ②職名
- ③主な担当科目



**児島 明**  
(コジマ アキラ)  
①社会(教育文化)  
②教授  
③日本教育文化論(1)



**松山 一紀**  
(マツヤマ カズキ)  
①社会(産業関係)  
②教授  
③組織行動学(1)



**廣野 俊輔**  
(ヒロノ シュンスケ)  
①社会(社会福祉)  
②准教授  
③ソーシャルワーク論Ⅲ



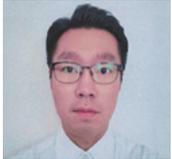
**鈴木 良**  
(スズキ リョウ)  
①社会(社会福祉)  
②准教授  
③障害者福祉論I



**郭 芳**  
(カク ホウ)  
①社会(社会福祉)  
②助教  
③高齢者福祉論I



**崔 紗華**  
(チェ サファ)  
①社会(教育文化)  
②助教  
③多文化共生社会と教育文化



**姜 民護**  
(カン ミンボ)  
①社会(社会福祉)  
②助教  
③ソーシャルワーク演習I



**竹治 ふみ香**  
(タケジ フミカ)  
①法(法律)②助教  
③リーガル・リサーチ



**兼原 信克**  
(カネハラ ノブカツ)  
①法②特別客員教授  
③国際関係特殊講義



**三俣 学**  
(ミツマタ ガク)  
①経済②教授  
③環境と資源



**笠井 高人**  
(カサイ タカト)  
①経済②准教授  
③経済思想史1



**太下 義之**  
(オホシタ ヨシユキ)  
①経済②教授  
③エコ/ミクス・ワークショップ・プライマリ2(経済学の古典講義1)



**小澤 りりさ**  
(コザワ リリサ)  
①商②助教  
③ビジネス・トピックス



**松本 宗谷**  
(マツモト ソウヤ)  
①商②助教  
③ビジネス・トピックス



**中尾 祐人**  
(ナカオ ユウト)  
①政策②助教  
③行政法(総論)



**西山 凜**  
(ニシヤマ レイ)  
①文化情報②助教  
③アカデミック・スキル1



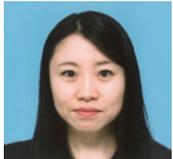
**岩本 真裕子**  
(イワモト マユコ)  
①文化情報②准教授  
③数理モデル



**佐野 明子**  
(サノ アキコ)  
①文化情報②准教授  
③現代文化概論



**斎藤 元幸**  
(サイトウ モトユキ)  
①文化情報②助教  
③認知科学の方法



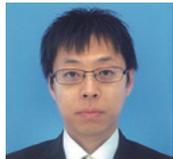
**妹尾 麻美**  
(セノオ マサミ)  
①文化情報②助教  
③社会調査入門



**SONG Jaehyun**  
(ソン ジェヒョン)  
①文化情報②助教  
③データサイエンス演習



**小野 景子**  
(オノ ケイコ)  
①理工(インテリジェント情報工)  
②准教授  
③JavaプログラミングⅢ



**田村 晃裕**  
(タムラ アキヒロ)  
①理工(情報システムデザイン)  
②准教授  
③データ工学



**井本 柱右**  
(イモト ケイスケ)  
①理工(情報システムデザイン)  
②准教授  
③プログラミングC言語I



**川口 正隆**  
(カワグチ マサタカ)  
①生命医科(医工)  
②教授  
③材料力学I



**山本 浩司**  
(ヤマモト コウジ)  
①生命医科(医工)  
②教授  
③バイオメカニクス



**西川 恵三**  
(ニシカワ ケイゾウ)  
①生命医科(医生命システム)  
②教授  
③細胞生物学II



**渡辺 公貴**  
(ワタナベ キミタカ)  
①生命医科(医工)  
②教授  
③製図学基礎



**藤村 友美**  
(フジムラ トモミ)  
①心理②准教授  
③精神生理学



**鈴木 伸子**  
(スズキ ノブコ)  
①グローバル・コミュニケーション  
②教授  
③ワークショップ現代日本社会I



**Regine DIETH**  
(レギーネ ディート)  
①グローバル・コミュニケーション  
②助教  
③Communicative Skills in German I



**孫 樹喬**  
(ソン ジュキョウ)  
①グローバル・コミュニケーション  
②准教授  
③基幹中国語I会話



**Dana John LINGLEY**  
(デナ ジョン リングレー)  
①グローバル・コミュニケーション  
②助教  
③Communicative Performance 1



**石野 未架**  
(イシノ ミカ)  
①グローバル地域文化  
②助教  
③グローバル地域文化導入セミナー



**中嶋 洋平**  
(ナカシマ ヨウヘイ)  
①グローバル地域文化  
②助教  
③グローバル地域文化導入セミナー



**西崎 文子**  
(ニシザキ フミコ)  
①グローバル・スタディーズ研究科  
②教授  
③グローバル時代の日米関係



**鄭 祐宗**  
(チョン ウチョソン)  
①グローバル・スタディーズ研究科  
②教授  
③日朝関係史論



**宋 基燦**  
(ソン キチヤン)  
①脳科学研究科(発達加齢脳)  
②助手



**御幸 聖樹**  
(ミキ マサキ)  
①司法研究科  
②准教授  
③憲法演習I



**曾和 俊文**  
(ソウワ シュンブン)  
①司法研究科  
②特別客員教授  
③行政法講義(総論)



**森田 喜基**  
(モリタ ヨシキ)  
①キリスト教文化センター  
②准教授  
③旧約聖書とキリスト教



**原田 朋子**  
(ハラダ トモコ)  
①日本語・日本文化教育センター  
②助教  
③日本語1・2(文章表現Ⅳ)

## 退職教員

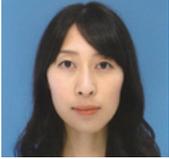
2020年3月31日付で、次の先生方が退職されました。



**柳川 響**  
(ヤナガワ ヒビキ)  
①文(国文)②助教  
③日本文学史(1)



**Michael Paul MCGUIRE**  
(マイケル ホール マクガイア)  
①文(英文)②准教授  
③Speaking AI



**佐藤 由梨**  
(サトウ ユリ)  
①法(法律)②助教  
③刑事手続法概論



**渡邊 義広**  
(ワタナベ ヨシヒロ)  
①法(法律)②教授  
③企業法務ベーシック



**田中 秀樹**  
(タナカ ヒデキ)  
①政策②准教授  
③経営学入門



**富樫 耕介**  
(トガシ コウスケ)  
①理工②准教授  
③政策トピックス



**浅岡 正幸**  
(アサオカ マサユキ)  
①理工(数理システム)  
②教授③幾何学特論I



**奥田 正浩**  
(オクダ マサヒロ)  
①理工(インテリジェント情報工)  
②教授  
③計算機アーキテクチャ



**中村 祐士**  
(ナカムラ ユウジ)  
①生命医科(医情報)  
②助教  
③バイオインフォマティクス



**谷岡 健資**  
(タニオカ ケンケイ)  
①生命医科(医情報)  
②助教  
③線形代数学I



**Blake TURNBULL**  
(ブレイク ターンブル)  
①グローバル地域文化  
②助教  
③コミュニケーションリサーチ1



**西川 由紀子**  
(ニシカワ ユキコ)  
①グローバル・スタディーズ  
②教授  
③安全保障の新しい課題



**井上 浩史**  
(イノウエ ヒロシ)  
①免許資格課程センター  
②教授  
③生徒・進路指導の理論と方法



**本岡 拓哉**  
(モトオカ タクヤ)  
①人文科学研究所  
②助教

### ■キリスト教文化センター

三木 メイ 准教授

### ■文学部

林 以知郎 教授  
廣田 収 教授  
神谷 勝広 教授  
岸 文和 教授  
GIRAUD Vincent Bernard 助教  
Luke Hennessy ROWLAND 助教

### ■文学研究科

林 麗婷 助手

### ■社会学部

石田 光男 教授  
上野谷 加代子 教授  
山田 裕子 教授  
尹 鈺喜 准教授

### ■社会学研究科

黄 琬茜 助手

### ■法学部

川本 哲郎 教授  
白井 正和 教授  
永井 智亮 教授  
小川 恵 助教

### ■経済学部

布留川 正博 教授  
三野 和雄 特別客員教授  
服部 昌彦 助教  
仲北浦 淳基 助教

### ■商学部

百合野 正博 教授  
洪 性奉 助教  
下門 直人 助教

### ■政策学部

井上 恒男 教授  
吉沢 晃 助教

### ■文化情報学部

矢野 環 教授  
川崎 廣吉 教授  
浦部 治一郎 教授  
大塚 幸生 助教  
柳沢 英輔 助教

### ■文化情報学研究科

孫 昊 助手

### ■理工学部

金田 重郎 教授  
河野 明 教授  
三木 光範 教授  
山本 誠一 教授  
坂本 英俊 教授

### ■理工学部実験実習センター

松本 孝広 実験講師

### ■生命医科学部

片山 傳生 教授  
仲町 英治 教授  
渡辺 好章 教授  
堀 哲也 准教授  
松島 正知 助教

### ■生命医科学研究科

Mamun Or Rashid A N M 助手

### ■スポーツ健康科学部

鷺谷 洋輔 助教  
加藤 久詞 助教

### ■グローバル・コミュニケーション学部

鈴木 伸子 准教授

### ■グローバル地域文化学部

圓月 優子 教授  
Michael Anthony EDWARDS 准教授

### ■グローバル・スタディーズ研究科

池田 啓子 教授  
松久 玲子 教授  
松谷 実のり 助教

### ■アメリカ研究所

志柿 浩一郎 助教

### ■脳科学研究科

藤山 文乃 教授

### ■免許資格課程センター

大橋 忠司 教授

### ■グローバル教育センター

George Sekine Solt 准教授

### ■日本語・日本文化教育センター

木谷 真紀子 准教授



## 2020年4月 同志社大学新島塾 第2期開塾



※写真は2019年度の活動状況です



同志社大学では、良心教育を継承しながら、文系と理系の垣根を越え、総合知を備えた次の時代を担う人物を養成するための新しい教育プログラム「同志社大学新島塾」(以下「新島塾」)を2019年度に開塾いたしました。新島塾では、学生の皆さんの意欲と能力を在学中に可能な限り伸ばし、それぞれの学問分野の専門性を身につけるだけにとどまらず、リーダーシップとフォロワーシップを兼ね備えた人物の養成を目指しています。

いかに時代が移り変わろうとも、人に寄り添って真摯に意見を汲み取り、全体を見渡して、他者や組織を最善の方向に導くことができる人物は、多様性と寛容に満ちた豊かな社会を築く上で欠かせない存在です。

新島が「人を植ゆる」という言葉に託したものが、「人一人ハ大切ナリ」という言葉に込めたものが、新島塾にはあると信じています。

塾生の皆さんが互いの「良心」を信頼し合い、真剣で自由な、そして人格的な知的交流を重ねることで、互いに切磋琢磨できるものと大いに期待しています。

同志社大学新島塾 塾長(同志社大学長) 植木 朝子

### 入塾対象等

対象者	本学学部2年次生(出願・審査時は学部1年次生)
入塾期間	学部2年次から始まる通算2年間
定員	25名(1学年につき)
修了証	2年間の在塾期間を終え、修了要件を満たした塾生には、学長(塾長)から「同志社大学新島塾修了証」を授与します。

### 特徴

POINT1	<b>新島塾独自のプログラムが受講出来ます!</b> 塾生しか学ぶことが出来ないプログラムを提供します。少人数で講義を受け、レポート作成や討論を行い、切磋琢磨しながら学びます。
POINT2	<b>潜在力の顕在化に向けた基礎トレーニングです!</b> 学びに対する意欲の高い学生の能力をより伸ばさせるため、厳しい指導の下、多くの課題をこなし、精神的にも負荷がかかる内容です。
POINT3	<b>各界のリーダーから直接学ぶことが出来ます!</b> 「リーダーに学ぶ徳力の涵養」(必修プログラム)では、各界のリーダーを招聘し、その思考や規範を直接学びます。

### プログラム

新島塾は、以下の「必修」プログラムと正課の授業、正課外活動によって構成されます。

#### 新島塾 必修プログラム紹介

##### 読書から始まる知の探求

担当教員が提示する課題図書を読み、指定された読書後の活動(書評の執筆、課題図書のテーマに関するディベートやフィールドワーク等)を通して取り上げられる問題を考察、探究し、幅広い教養や論理的思考力の獲得、社会的視野の拡大と意欲の醸成、豊かな感性を育みます。2019年度は、参考図書を含め17冊の課題図書が提示されました。塾生は、自身の学問分野とは異なる分野の書籍を読み、知識の増大はもとより、異なる学部で学ぶ塾生との議論を通じて、一つの事象には様々な価値観やもの見方・考え方があることを文字通り体感しました。

##### 合宿で鍛える知的基礎体力

日常生活から離れた塾生や講師と時間・空間を共有して語り、仲間と協働する価値を学ぶことに集中します。専門分野に留まらない学知の必要性を思い知るとともに、複雑な社会情勢を読み解くための基礎力を培います。2019年度は、「2040年ごろの時代でも通用する普遍的な学力は何かを知り、それをいかに獲得すればよいかを学ぶ」ことを目的に3泊4日の日程で開催されました。講義は「総合知」と「資源・エネルギー・情報」をテーマに、小テスト・レポート作成・討論が繰り返行われました。

##### リーダーに学ぶ徳力の涵養

各界のリーダーを招き、設定したテーマに関して対話・討論し、人生の岐路となった経験、リーダーとして下した重大な決断、対面した危機や困難をどのように克服して乗り越えたか等を知り、その思考や規範からロールモデルを発見します。2019年度は、株式会社ANA総合研究所の副社長をお招きし、「一人ひとりが輝く～ダイバーシティが生み出す力～」をテーマに全日本空輸株式会社の成り立ち・成長の歴史から、入社後、取締役専務執行役員を経て現在に至るまでの道のりとご自身が大切にされていることを中心に、これまでの経験談を交え講演いただきました。

### 2019年度同志社大学新島塾 課題図書・参考図書一覧

書名	著者
いま大学で勉強するということが「良く生きる」ための学びとは	佐藤 優・松岡 敬
「型」を学ぼうーレポートの作成ー	新 茂之・吉川 杉生
宮大工の育てー木も人も「癖」があるから面白い	菊池 恭二
神様が持たせてくれた弁当箱	岡本 彰夫
人生生涯小僧のころ	塩田 亮潤
科学者はなぜ神を信じるのか コペルニクスからホーキングまで	三田 一郎
新島塾365	同志社大学良心学 研究センター
富山は日本のスウェーデン 変革する保守王国の謎を解く	井手 英策
ひとりから始める事起こすのすすめ: 地域復興のためのゼロからの挑戦と実践システム理論	岡田 憲夫
いかにして問題をとくか	G・ボリヤ
ポスト資本主義社会	P.F.ドラッカー
データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤 公一朗
ホモ・デウス テクノロジーとサピエンスの未来 上巻	ユヴァル・ノア・ハラリ
ホモ・デウス テクノロジーとサピエンスの未来 下巻	ユヴァル・ノア・ハラリ
民族とナショナリズム	アーネスト・ゲルナー
Nations And Nationalism (New Perspectives on the Past)	Ernest Gellner
佐藤優の集中講義 民族問題	佐藤 優
新・リーダーのための教養講義 インプットとアウトプットの技法	佐藤 優+同志社大学 新島塾

新島塾オリジナルサイト  
(学びのかたちの新展開)

同志社大学新島塾

<https://next.doshisha.ac.jp/index.html>

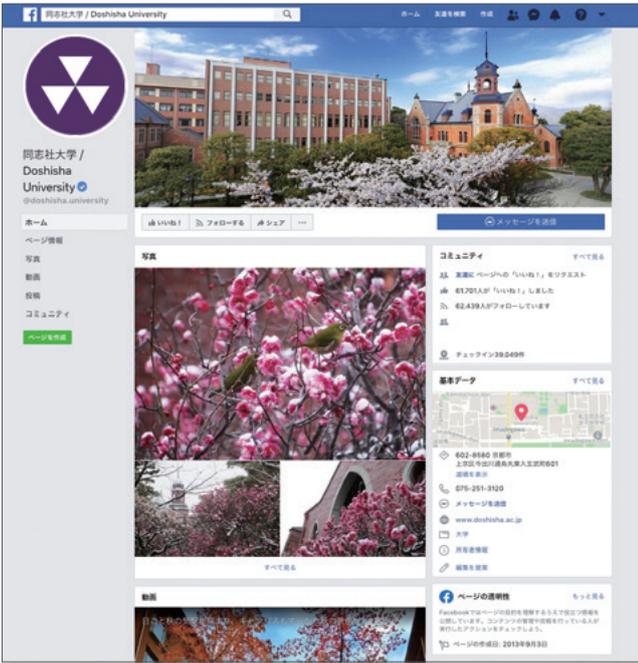


# 同志社大学公式SNS一覧


**同志社大学  
公式Facebook**



**同志社大学  
公式twitter**

<https://www.facebook.com/doshisha.university/>

[https://twitter.com/DoshishaUniv\\_PR/](https://twitter.com/DoshishaUniv_PR/)

## 全学共通教養教育科目 「メガトレンドを読む」を新設

同志社大学では、2020年度より全学共通教養教育科目のキャリア形成支援科目として、「メガトレンドを読む」を両校地で開講します。

本科目では、10年先、さらには30年先までも見据え、国際政治、世界経済、人口・環境問題、産業構造、働き方など様々な分野から、世界と日本をとり巻く巨大潮流（メガトレンド）について解説します。授業は、日本経済新聞社の協力の下、各分野を長く担当してきたベテランの記者がリレー方式で解説します。

メガトレンドは、社会に大きな課題をもたらす一方で、新たなビジネスを生み出すことにも注目し、イノベーションの創出に必要な「課題を設定し、発見する力」をも養ってもらいたいと考えています。

## 2020年4月からスタートする 「高等教育の修学支援新制度」の在學生(学部生)を 対象とした申請受付を行います

同志社大学は、「高等教育の修学支援新制度」（国の新しい奨学金等の制度）の支援対象大学となりました。家計や学業成績・学修意欲等の基準を満たす学部生は「高等教育の修学支援新制度」により、日本学生支援機構給付奨学金と本学の授業料等減免を受けることができます。

これまでの日本学生支援機構給付奨学金に比べ、支援の対象が大幅に広がります。希望者は、条件を確認のうえ申請してください。

詳しくはこちらをご覧ください

同志社大学奨学金のウェブページ「高等教育の修学支援新制度」について  
[https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest\\_information/for\\_faculty.html#kuni](https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#kuni)



日本学生支援機構給付奨学金・  
授業料減免 申請期間

**2020年  
4月1日(水)～17日(金)**  
(最終日消印有効)

希望者は、学生生活課の窓口で申込関係書類を受け取り、左記期間に学生生活課に郵送にて申請書類を提出してください（最終日消印有効）。

【問合せ先】  
学生生活課 電話（今出川）075-251-3280  
（京田辺）0774-65-7430



## 本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

## ドイツにおける

## 運輸連合制度の意義と成果

青木真美 著 日本経済評論社 3,700円

## 2100年の世界地図

峯陽一 著 岩波書店 960円

## 奴隷船の世界史

布留川正博 著 岩波書店 860円

## 紛争と和解を考える

月村太郎 他 著 誠信書房 2,400円

## ノンフィクションの英米文学

藤井光 他 著 金星堂 3,300円

## 新時代の中小企業経営

関智宏 他 著 同友館 2,800円

## 続・知的財産法最高裁判例評釈大系

山根崇邦 井関涼子 他 著 青林書院 9,000円

## 代数的統計モデル

原尚幸 他 著 共立出版 3,800円

## 国際法のフロンティア

坂元茂樹 他 著 日本評論社 11,000円

## 現代民事手続法の課題

川嶋四郎 他 著 信山社 19,600円

## 法曹の倫理 第3版

河村博 他 著 名古屋大学出版会 3,800円

## 1571年 銀の大流通と国家統合

城地孝 堀井優 他 著 山川出版社 3,500円

## グローバル化と法の諸課題

川嶋四郎 他 著 東信堂 1,200円

## アジアの市場経済化と民事法

川嶋四郎 他 著 神戸大学出版会 3,700円

## 小さき者の幸せが守られる経済へ

浜矩子 著 新日本出版社 1,500円

## 市民法学の新たな地平を求めて

濱真一郎 他 著 成文堂 8,000円

## 承認とモチベーション

太田肇 著 同文館出版 1,900円

## ケースブック独占禁止法 第4版

瀬領真悟 他 著 弘文堂 4,300円

## 人権問題資料 改訂第8版

横井和彦 越川弘弘 三木メイ 著  
同志社大学キリスト教文化センター

## 論点体系 判例民法 第3版4

## 債権総論I

佐々木典子 他 著 第一法規 4,500円

## 新島襄365

木原浩信 小原克博 貴名信行 林田明 深谷格  
和田喜彦 他 著 同志社大学良心学研究中心

## 外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?

内藤正典 著 集英社 1,600円

## 大脳基底核

苅部冬紀 高橋晋 藤山文乃 著  
共立出版 3,200円

## 統治の不安と日本政治のリアリティ

池田謙一 著 木鐸社 4,000円

## 経済的理性の狂気

下門直人 他 著 作品社 2,800円

## 認知行動療法事典

石川信一 他 編集幹事 石川信一 大屋藍子  
杉若弘子 武藤崇 他 著 丸善出版 20,000円

## 歴史認識から見た戦後日韓関係

太田修 他 著 社会評論社 3,800円

## 人々がつなぐ世界史

堀井優 他 著 ミネルヴァ書房 5,000円

## 古代アメリカの比較文明論

林田明 他 著 京都大学学術出版会 4,200円

## 空とアメリカ文学

藤井光 他 著 彩流社 3,200円

## 包摂・共生の政治か、排除の政治か

久野聖子 他 著 明石書店 2,800円

## 日本人は右傾化したのか

伊藤理史 他 著 勁草書房 3,000円

## 糧

服部敬弘 樋口雄哉 他 訳 萌書房 6,000円

## 筋肉研究最前線

若原卓 他 著 エヌ・ティー・エス 38,000円

## 日本経済の長期停滞をどう視るか

林田秀樹 他 著 桜井書店 2,600円

## 人権問題資料 第30版

水谷誠 他 著 同志社大学キリスト教文化センター

## 人権問題資料 第31版

水谷誠 他 著 同志社大学キリスト教文化センター

## 会社法コンメンタール補巻

## 平成26年改正

山下友信 川口恭弘 松津浩司 伊藤靖史 他 著  
商事法務 11,000円

## 勇気の赤い勲章

藤井光 訳 光文社 880円

## 健康心理学事典

石川信一 興津真理子 余語真夫 他 著  
丸善出版 20,000円

## 政策実現過程のグローバル化

浅野有紀 他 編著 弘文堂 5,700円

## 感情心理学ハンドブック

内山伊知郎 監修 内山伊知郎 竹原卓真  
余語真夫 他 著 北大路書房 8,000円

## 18歳からはじめる民法 第4版

野々村和喜 他 著 法律文化社 2,200円

## 転形期のメディアロジー

瀬崎圭二 他 著 森話社 4,500円

## ウォッチング労働法 第4版

土田道夫 他 編著 坂井岳夫 他 著 有斐閣 3,600円

## 行動経済学の現在と未来

八木匠 瓜生原葉子 他 著 日本評論社 3,600円

## 財政学

宮澤和俊 他 著 新世社 2,500円

## 錯体化合物事典

小寺政人 人見穰 水谷義 他 著  
朝倉書店 29,000円

## 臨床言語心理学の可能性

武藤崇 編 武藤崇 他 著 晃洋書房 2,500円

## はじめて学ぶ電気電子計測

松川真美 小山大介 著 日刊工業新聞社 2,400円

## 貧困と就労自立支援再考

堀橋孝文 編 堀橋孝文 畑本裕介 他 著  
法律文化社 4,000円

## トランスアトランティック・エコロジー

金津和美 他 著 彩流社 3,500円

## 基礎から学ぶ半導体電子デバイス

大谷直毅 著 森北出版 2,500円

## 東アジア海域から眺望する世界史

向正樹 他 著 明石書店 3,800円

## 晩華和歌集／賀茂翁家集

大山和哉 他 著 明治書院 14,000円

## 抵抗者の物語

白川恵子 著 小鳥遊書房 3,800円

## デザイン科学事典

廣安知之 他 著 丸善出版 20,000円

## フェイクニュースに震撼する

## 民主主義

松本明日香 他 著 大学教育出版 2,000円

## クィア・スタディーズをひらく1

菅野優香 他 著 晃洋書房 2,300円

## アンチエイジング研究:

## 世界の趨勢と日本

米井嘉一 他 著 医歯薬出版 4,300円

## 実践・新しい雇用社会と法

土田道夫 他 著 有斐閣 3,100円

## 認知言語学大事典

長谷部陽一郎 他 著 朝倉書店 22,000円

## 交通政策

青木真美 他 訳 ミネルヴァ書房 4,000円

## 家事法の理論・実務・判例 3

小川恵 他 著 勁草書房 4,000円

## 世界経済論

遠藤敏幸 他 著 ミネルヴァ書房 3,000円

## 2040年 大学教育の展望

山田礼子 著 東信堂 3,500円

## 大学改革の迷走

佐藤郁哉 著 筑摩書房 1,200円

## 新世界の社会福祉 第1巻

イギリス/アイルランド

永田祐 他 著 旬報社

## 憲法訴訟の十字路

尾形健 他 著 弘文堂 5,600円

## ロシア文化事典

中野幸男 他 著 丸善出版 20,000円

## 日本の海洋政策と海洋法

## 増補第2版

坂元茂樹 著 信山社 8,800円

## ナノファイバーの

## 製造・加工技術と応用事例

吳魏 廣垣俊樹 廣田健 他 著  
技術情報協会 80,000円

## 企業法務と労働法

土田道夫 編 土田道夫 上田達子 坂井岳夫 他 著  
商事法務 4,600円

## INTERVIEW

### 同志社人 訪問

西田 瞳さん  
文学部健康科学部3年次生



西井 孝明さん  
文学部社会学科卒業生

味の素株式会社社長

# 西井 孝明さんに聞く

アミノ酸のリーディングカンパニーとして、人々の食と健康に貢献する味の素。  
その社長として様々な改革に取り組む西井孝明さんに、  
同志社大学弓道部の後輩にあたる西田瞳さんがインタビューしました。

## 生活者の行動に影響を与える 社会の仕組みを学びたかった

**西田** 文学部社会学科社会学専攻（当時）のご出身ですが、専攻を選ばれた理由をお聞かせください。

**西井** 当時は1970年代後半で、高度経済成長期が終焉を迎え、繁栄によってもたらされた歪みや社会制度への疲弊感が表れていた時代。そんな社会全体を捉えてその仕組みを理解するという社会学にすごく興味を持ちました。なぜなら、将来は消費財を扱う仕事、つまり生活者に近いビジネスをやりたいと思っていたからです。それなら、商学やマーケティングでは？と思われるかもしれませんが、もちろんマーケ

ティングで生活者の行動を捉えることも大事ですが、そこには時代背景や社会環境が大きく影響すると考えたのです。そこでまずは、生活者の行動に影響を与える社会の仕組みがどう構築されるのかを学ぼうと考え、社会学専攻を選びました。

**西田** 将来を見据えて選ばれたのですね。ゼミはどんな雰囲気でしたか。

**西井** 先生が自主性を重んじる、フランクな方で、ゼミも同様の雰囲気でしたね。当時は学生運動の名残があり、同志社では大学へ行くとバリケードが張られ「試験中止」ということもありましたよ。

**西田** 弓道部でもご活躍されたとお聞きしています。弓道は高校から取り組

まれたそうですが、大学でも続けようと思われたのはなぜでしょうか。

**西井** 高校では国体（国民体育大会）出場を惜しくも逃したり、インターハイに出られなかったりと悔しい思いをしました。もう少し続けたいと思っていたところに声がかかり、大学でも弓道部に入ることにしたのです。弓道は集中力が高まりますし、個人の成績が団体の結果にもつながるところが魅力ですよ。

**西田** 弓道部での4年間で一番印象に残っていることは何ですか。

**西井** 一つに絞れないほどたくさんあります。私が入部する数年前に二部リーグに落ちてしまったので、もう一度一部に上がろうと全員が一丸となっ



リーダーシップは自分で作るもの。  
失敗を恐れず、  
一歩踏み出す勇気を持つとう

## 今回の同志社人

### 西井 孝明 さん 【1982年 文学部社会学科 卒業】

にしい・たかあき 1959年生まれ、奈良県出身。1982年、味の素株式会社に入社。2004年味の素冷凍食品株式会社取締役家庭用事業部長、09年人事部長、11年執行役員人事部長を務め、13年ブラジル味の素社長に就任し、ラテンアメリカ本部長として南米駐在。15年、創業家を除いて味の素歴代最年少となる55歳で社長に就任。

て頑張りました。先輩後輩の壁がなく、何でも言い合える雰囲気、チームワークが非常に良かった。弓道以外のつながりも強く、まさに同じ釜の飯を食った仲間たちと言えますね。

### 社会人としての原点を 体験から学んだ新入社員時代

**西田** 味の素に入社されて、どんな新入社員時代を送られたのでしょうか。

**西井** 最初は営業として、味の素の商品をスーパーマーケットなどに売り込む仕事を担当しました。モノを買ってもらうというのはすごく大変なこと。どんなに大きな会社の社員でも、個人として信頼されなければ、お客様はイエスと言いません。相手との信頼関係を築くことが何より大切になるのです。単に買ってもらえればいいという考えではダメです。たとえ買ってもらえなくてもいいからお客様と同じ立場に立って一緒に悩みを解決していこうという思いや姿勢が必要です。それがあれば信頼を得られるし、いい仕事で

きると思います。

**西田** とても勉強になります。やはり学生と社会人は大きな違いがあるんですね。

**西井** 大学で得た知識で乗り越えられることもあれば、実社会で一步一步着実に身に付けなければならないこともあります。企業に入るとステークホルダーと言われる、取引先や消費者、従業員ほか様々な方々との関係があり、日々の活動で信頼関係をつくりあげていくことが大切です。社会人としての原点とも言えるべきことを、新入社員時代の経験から学ぶことができました。

### ユニークネスを追いかけることが 味の素のDNA

**西田** 「グローバル食品企業トップ10」を実現するにあたって、「きらりと光るユニークネス」を発揮しようと考えられたそうですが、めざす“ユニークネス”とは何でしょうか。

**西井** 味の素はもともとすごくユニークな会社なんです。今年で創業111年

目になりますが、その歴史は1908年、創業者のひとりである池田菊苗博士が昆布からグルタミン酸というアミノ酸の一種「うま味」を発見したことに始まります。そして、このうま味を調味料にして、当時の味気ない食事をおいしくすることで日本人の栄養状態を改善しようとしたのです。それが私たちのルーツです。世の中になかったものを生み出し、アミノ酸事業で世界ナンバーワンの会社になったのです。このように、もともと「きらりと光るユニークネス」を持つ会社なので、トップ10に入り、その地位に見合う活躍ができると思ったのです。

**西田** トップ10入りのためにユニークなことをするのはなく、逆の考えなのですね。

**西井** そうです。トップ10入りは一つの通過点でしかありません。ユニークネスを追いかけることは味の素のDNA。いつもユニークなことをしたいと思っています。例えば、再生医療に使われるiPS細胞の培地を開発しているのも味の素です。培地は細胞が必要とするアミノ酸ほか、糖質や脂質、ビタミンなどからできています。味の素が長年研究を続けるアミノ酸技術をそこに活用しているのです。

**西田** 知りませんでした。そんなところにも貢献されているとは驚きです。

**西井** ユニークでしょう。他にはないオンリーワンの会社なんです。

### チャンスが来たら手を挙げて たくさんの失敗を経験しておくべき

**西田** 企業のトップとして心がけていることを教えてください。

**西井** ビジョンをあらかじめ明確に宣言し、変えていくこともリーダーの大事な役割だと思っています。グローバ





ル企業のトップは、10年後、20年後のビジョンを明確に示してから、そのためにすべきことを決める。一方、日本の経営者は一步一步地道に進んで、これぐらいなら行けるだろうと目星がついたところで、目標を立てる。リーダーシップが完全に逆転しているわけです。これが、海外と日本の経営者の大きな違いです。先にビジョンを掲げて、宣言する——これはトップがすべきことであって、そうしなければ成し得ない仕事はたくさんあります。トップにいるうちに様々なことに取り組もうと思っています。

**西田** 大胆な改革を実行する際、迷いや躊躇を抱くことはありますか。

**西井** それはもちろんあります。けれど、新入社員時代から築いてきた信頼関係があり、共感してくださる得意先も増えています。変えることはトップにしかできないこと。失敗すれば自分が責任を取ればいいのです。それは恐れるに足らないことです。

**西田** 西井社長のような決断力や実行力を身に付けるために、学生のうちにやっておくべきことはありますか。

**西井** 失敗を恐れられないためには練習が必要です。失敗をたくさん経験して、たいしたことないと思えるようになるのと随分楽になると思いますよ。そのためにも、チャンスが来たら手を挙げる。たとえ出来るかどうかかわからなくても、一歩踏み出す勇気を持つ。学生はもちろん、社会人になって新人でも管理職になっても必要なことです。私は、リーダーシップは作れるものだと思っています。最初から素質を持つ

ている人はいなくて、トレーニングすることで鍛えられる。

**西田** そのためにも、目の前に来たチャンスは悩まずに掴むということですね。

**西井** そうです。もう一つ大切なのは、チャンスを選び好みしないこと。「このチャンスは嫌だ」「このチャンスならいい」と選び好みする人には大きなチャンスはまわってきません。神様が見ていると思っただけでより良いことをやりましょうという、新島襄先生のキリスト教主義の本質ですね。

### キリスト教主義や自由主義の教えが理想を追いかける力になる

**西田** 最後に、西井社長にとって同志社大学とは何だったのでしょうか。

**西井** 同志社のキリスト教主義、自由主義、国際主義は今でも私の指針になっているほど、素晴らしい理念だと思います。私たちの仕事が誰のために

なるかを考えた時、生活者がハッピーになること、人々に喜んでもらえるものを作らなければならない。今のハッピーではなく、10年後、20年後のハッピーを作ろうとすると、もっと大きなチャレンジが必要になるわけです。そんな先のことは誰にもわからないけれど、そこであきらめるのではなくて、神様が見ていると考えて挑戦する。それが理想を追いかける力になる。そして、それを実行するにはやはり、自由主義でなければならないんです。新島先生自身、当時の国のルールを破ってアメリカに渡り、学んだことを持ち帰って日本の教育を変えていきました。もっと先の、もっとより良い世界を作ろうとしたわけですね。新島先生の気概や国際主義を受け継いだ人材には非常に魅力を感じます。同志社の後輩たちにはそういう学生であってほしいと願っています。

#### 日本代表選手の栄養をサポート

味の素は、東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャルパートナーです。2003年から日本オリンピック委員会（JOC）と共同で、代表選手への食とアミノ酸を通じたコンディショニングサポート活動「ビクトリープロジェクト®」を展開し、フィギュアスケートの羽生結弦選手をはじめ多くのトップアスリートの強化支援に取り組んできました。東京2020大会でも、競泳の瀬戸大也選手や卓球の伊藤美誠選手、パラ陸上競技の山本篤選手などをサポート。選手たちに勝利を呼び込み、大会の成功に貢献していきます。

詳しくは  
コチラ

<https://www.ajinomoto.co.jp/sports/athletes/>

### インタビューを終えて

最初は緊張しましたが、弓道という共通の話題があり、またとても親しみやすい雰囲気を作ってくくださったおかげで、楽しくインタビューをすることができました。どんなチャンスでも選び好みせず目の前に来たものは大事にすべきという話がとても印象的で、リーダーシップは自分自身で作るものだという言葉にも感銘を受けました。残りの大学生活で弓道部の副将としてより良い部を作るように努め、社会へ出るための礎にしたいと思います。



インタビューー

西田 瞳 さん

【スポーツ健康科学部 3年次生】

にしだ・ひとみ 鳥取県出身。高校で弓道を始め、高校2年冬に全国高校選抜大会で個人優勝に輝く。現在、弓道部の副将を務め、女子東西学生弓道選抜対抗試合に西日本代表として出場するなど活躍。専門は障がい者スポーツで、今年のパラリンピックを通して、障がい者スポーツを広めたいという思いを持つ。※学年は取材時の学年。



# My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

せき かずゆき  
**関 和幸**さん

【2018年 理工学研究科修了】

株式会社オリエンタルランド 商品本部 商品販売部

## 圧倒的な感動体験を提供する 魅力あるテーマパークづくりに取り組む

### One day on the job



06:30

**出社**  
引継ぎの確認、および当日の天候や入園者数予測などの情報収集。運営計画を立ててキャストへ共有。



09:00

**オペレーションのモニター・キャストへのフィードバック**

ゲストが安全に楽しくお買い物ができる環境になっているか、キャストがゲストを楽しませられるコミュニケーションを取れているか、ゲストニーズに沿った陳列棚を作れているか、等

10:30 **ブレイク**

12:00 **担当業務作業、各種ミーティング**  
新オペレーションプラン検討、売上向上施策の検討、キャスト契約更新面談など



15:00

**引継ぎ**  
運番勤務のスーパーバイザーと引継ぎを行い、退勤。



### Off time

趣味はミュージカル鑑賞です。昨年夏、職場のメンバーで富士登山に初挑戦しました。

幼い頃から大好きだった東京ディズニーリゾート®。行くと必ず、「まだ帰りたくない!」と泣いてしまうほど、ここでの体験や環境に魅せられていました。大人になってもこの思いは変わらず、「この素晴らしい世界観をつくる一員になりたい」と強く思っていました。就職活動では、東京ディズニーリゾートを運営するオリエンタルランドのインターンシップに参加。3日間のグループワーク研修や社員座談会を通して、自分にはここしかないと確信することができました。

現在は、スーパーバイザー（時間帯責任者）として、テーマパークの運営、売上管理、キャスト（従業員）の指導・育成などに携わっています。主に、東京ディズニーシー®内の複数の商品施設を任されており、200名程度のキャストとともに、より良いテーマパークづくりに取り組んでいます。

この仕事の魅力は、たくさんのお客様の笑顔や喜びの瞬間に立ち会えること。特に印象深かったのが、東京ディズニーリゾート35周年イベントです。“Happiest Celebration!”をテーマに、約1年間かけてさまざまな特別イベントを開催。グランドフィナーレ期間のワールドバザールでは、プロジェクトマッピングを楽しんだり、音楽に合わせて踊ったりとお祝いムードに包まれました。

した。その際、ゲストはもちろんキャストの笑顔もとても輝いていたのが印象的で、ここはみんなが幸せを感じられる素晴らしい場所だと再認識することができました。

これからも、圧倒的な感動体験を提供し、ゲストにとって快適なテーマパークづくりに携わっていききたい。そのためには、時代の変化に合わせて、テーマパークも進化していくべきだと考えています。例えば、ITの活用もその取り組みの一つ。現在は東京ディズニーリゾート・アプリでディズニー・ファストパスの取得やお土産の購入ができるようになり、ゲストにより効率的にパークを楽しんでいただける環境となりました。“人にとって使いやすい技術・システムとは何か”、大学・大学院で研究してきた「ヒューマンインタフェース」の考えも活かして、パークの未来を考える部署で、企画や開発に挑戦していきたくと考えています。

後輩の皆さんには、何にでも全力で取り組んでほしい。その経験が、人生において大きな自信につながるはず。私自身、壁にぶつかったときも「大丈夫!頑張れる!」と前向きな気持ちになれるのは、ゼミやサークル、アルバイトなど一生懸命に取り組んだ大学・大学院時代があるから。楽しみながら全力で頑張ってくださいと、エールを送りたいと思います。

# My Life

第83回

を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。

キャリア・プランに役立てば幸いです。

みなべ かすみ  
**美辺 香澄さん**

[2010年 商学部卒業]  
美辺株式会社代表取締役  
一時お預かり専用託児所はないと



## 希望を叶えてくれる託児施設の少なさを痛感し 「理想の託児所の実現」を目指して起業

現在の事業を立ち上げるまでは会計士の仕事をしていました。試験に合格したのは3年次生の時です。就職した大手監査法人では世界的メーカーの会計監査業務を担当していました。その後、2013年に結婚して退職。翌年に第一子を出産した後、他の監査法人の非常勤職員として職場復帰しました。この時、痛感したのが希望を叶えてくれる託児施設の少なさです。これが「一時お預かり専用託児所はないと」設立のきっかけになりました。起業については子どもの頃から関心を持っており、公認会計士の資格を取得したのも「会社を興すのに必ず役に立つ」という父親の助言に納得したからです。ただし、何をするかはまったく決まっていなかった。「理想的な託児施設の実現」を思い立った時、挑みたい事業の姿が明確に見えてきたのです。

設立したのは2016年です。名称は私の名前「香澄」に由来します。「カスミソウ」の別名は「花糸撫子(はないと・なでしこ)」で、これに「～は、ないと!」という意味を重ねました。コンセプトには「安心・安全・広い・美味しい・便利」を掲げています。特に「美味しい」は私自身がおいしいものを食べることが大好きで、子どもたちにも美味を満喫して欲しいからです。私が卒業した愛知県立瑞陵高等学校には普通科

と共に県内公立高校では唯一の食物科があり、そこで学んだ同期生や後輩の栄養や調理の専門家に料理を担当してもらっています。開設当初は経営が非常に厳しかったのですが、数カ月後に利用者が急増し、乗り切ることができました。運営面で日々大変なのはスタッフのシフト調整です。予約が確定するのは前日なので、その時点で手配することになるからです。まだ一時預かり専用託児所に対する社会的な評価は低いのですが、絶対に必要なものです。子どもはもとよりご両親もスタッフも輝ける場を生み出し、それを広げていきたい。事業所内保育園の委託運営も事業の重要な柱です。将来的には介護の分野にも進出したいと思っています。

同志社大学を選んだのは関西圏でトップレベルの私大だったからです。公認会計士などの資格取得を目指す学生が多く、友人の助言も役立ちました。実践的な授業もあり4年間の様々な学びが事業の支えになっています。起業を考えている後輩の方には、まず就職することをお勧めします。雇用される側の経験が必要だからです。その間に資金を貯めてください。また、初心を貫くために、起業時の熱い思いを自分へのメッセージとして書き残すことも大切です。



はないとの室内。 はないとの給食。



日進市の保育園で、毎年恒例の味噌づくり。できた味噌は給食で使います。



2018年冬 愛知県のソーシャルビジネスブランドコンテストで愛知県知事賞受賞。家族と。



2019年夏に「一時お預かり専用託児所はないと」の商標登録が完了しました。

## COVER INTERVIEW My Purpose 挑戦する人

## 昨年10月からフジテレビ系『めざましどようび』に 第11代目お天気キャスターとして出演 小学生の頃からの夢であるアナウンサーを目指し ポジティブな姿勢で日々努力を重ねている



アナウンサーという仕事に憧れを抱いたのは小学生の頃だった。その夢を実現するために、迷うことなく社会学部メディア学科を選択した。同志社大学の自由主義を掲げる校風、自発的に様々なことに挑戦できる環境も魅力的だったという。3年間の学びの中でメディアから発信される多様な情報を的確に読み解くメディアリテラシーも養われてきたと実感している。主体的な学習ができる最先端の設備やスペースなどを完備したラーニング・コモンズも積極的に活用してきた。現在、演習はメディア人類学、メディア文化を研究している勝野宏史准教授のゼミに所属している。谷尻さんが取り組んでいるテーマはAIアナウンサーである。「人工知能に音声データなどを学習させて文章を読み上げることができるようにしたのがAIアナウンサーです。これに優るためには、どうすればよいのかということを追究すれば、人間のアナウンサーとして重要なことが見えてくると考えています。例えば、共感を深めること。天気予報であれば、実感を込めることが大切です。また、AIアナウンサーは一辺倒な発音になりがちですが、人間の場合は高い声域から低い声域まで出すことができます。これを巧みに使って話すようにすれば、視聴者の方々の心をより強く捉えることができると思います」。卒業論文では、この比較研究に加えてAIについての考察も行い、人間ならではの価値も探究する予定である。

課外活動では2年次生の時まで同志社室内楽団に所属し、フルートを担当。そ

のメンバーをはじめ授業やグループワークなどでも数多くの友人ができ、英語検定2級の語学力を活かして留学生との交流も広がったと微笑む。この他にも資格は漢字検定準1級、ニュース検定2級、スキー検定2級を取得。趣味のピアノは小学3年生から続けている。コンテストでも第6回ミスはちみつクイーンコンテストでグランプリ、第67代今宮戎神社福娘代表、日本きものシステム協同組合主催モデルオーディションでドリームエンジェル8期生に選出された。自分の心のアンテナに引っかかったものには果敢に挑むタイプであり、そのすべてがアナウンサーへの挑戦に役立っていると語る。

フジテレビ系『めざましどようび』のお天気キャスターを務めるようになったのは昨年10月からである。「選ばれた時は舞い上がるほど感激しました。毎週前日の金曜日に東京に向かいます。当日は午前3時に起床なので、目覚まし時計を3つセットしています(笑)。毎回、本番前は凄く緊張します。でも、初回の時に13m前後の強風でマイクカバーが吹き飛び、セットしていただいた髪も大きく乱れ、目が点になったのですが、何とか凌ぎました。この経験があるので、もう怖いものなしです(笑)。体調管理が大切なので平日は午後10時には就寝し、睡眠を十分に取るようにしています」。女性アナウンサーは谷尻さんが目指す理想の女性像である。そのために、知力を高め、心を耕し、感性を磨き、身だしなみや立ち居振る舞いにも気を配り、その憧憬に少しずつでも近づきたいという。



たにじり もえ  
**谷尻 萌さん**

【社会学部メディア学科 3年次生】

※学年は取材時の学年。